

第2回花巻市（仮称）花巻地区かわまちづくり計画策定協議会 議事録

1 開催日時

令和6年9月30日（月） 午後2時00分～午後3時00分

2 開催場所

花巻市役所本館3階 302・303会議室

3 出席者

出席委員 9名

木村 憲一郎（富士大学教授）
高橋 英明（花巻商工会議所青年部長）
佐々木 博（花巻観光協会会長）
高田 貞一（花巻温泉郷観光推進協議会会長）
白畑 誠一（北上川フィールドライフクラブ代表）
福田 一馬（ミズベリング花巻代表）
神山 芳武（豊沢町振興会会長）
佐藤 隆（里川口町自治会会長）
佐藤 俊二（小舟渡自治会会長）

出席アドバイザー 2名

小原 竜光（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所工務第一課専門調査官）
小野 一（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所水沢出張所所長）

国側出席者 3名

土田 昭夫（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所副所長）
前田 文章（(株)東京建設コンサルタント地域環境事業本部流域文化部技師長）
前田 格（(株)東京建設コンサルタント地域環境事業本部流域文化部グループ長）

市側出席者 7名

板垣 浩美（建設部長）
重茂 猛（建設部道路課課長）
中野 敬（建設部道路課課長補佐）
飛澤 翼（建設部道路課主査）
平賀 健司（建設部都市政策課都市デザイン係長）
薄衣 孝史（商工労政部観光課課長補佐）
福盛田 聡彦（生涯学習部賢治まちづくり課賢治まちづくり係長）

4 傍聴者

なし

5 議題

- (1) 第1回協議会質問・意見に対する対応状況について
- (2) 計画申請書案の変更内容について

6 議事録

（重茂課長）

皆さん、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、これより第2回花巻市（仮称）花巻地区かわまちづくり計画策定協議会を開催いたします。よろしく願いいたします。

本日司会をさせていただきます私、花巻市建設部道路課課長、重茂と申します。よろしく願いいたします。本日の協議会は、予定としては約1時間半程度と考えております。なお、本協議会議事録作成のため、

内容を録音させていただきますので、ご了承いただきたいと思います。それでは、次第の1. 挨拶といたしまして、本協議会会長の木村様よりよろしく願いいたします。

(木村憲一郎会長)

皆さん、こんにちは。ご紹介にあずかりました木村です。よろしく申し上げます。
委員の皆様、アドバイザーの皆様、関係の皆様におかれましては、お忙しい中このように多く集まっていたいただきまして、感謝申し上げます。また、私が所属している富士大学には、日頃より並々ならぬご指導、ご支援を賜りまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、本協議会でございますが、本年4月1日に設置され、第1回目の協議会を7月5日に開催させていただいたところです。7月5日の協議会では、予定の時間を超過するほど皆様からたくさんのご意見とご質問を賜りました。ありがとうございます。かなり活発な協議が進んだかと思えます。

本日は、その中で課題として残されていた確認事項あるいは意見等につきまして、皆様に内容をご確認いただきたいと思っております。

1時間半ということではございますが、内容をご確認いただき、また円滑な協議の進行にご協力いただきたいという願いを申し上げまして、私からの挨拶といたします。本日はよろしく願いいたします。

(重茂課長)

ありがとうございました。

続きまして、花巻市建設部部長、板垣よりご挨拶申し上げます。

(板垣部長)

皆さん、こんにちは。花巻市建設部の部長の板垣と申します。本日はお忙しい中、第2回の協議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、花巻市建設部の事業に関していろいろご協力賜っておりますことに改めて御礼申し上げます。

今、会長から詳しいご挨拶の話がありましたので、簡単となりますが、北上川が近くに流れているというところで、北上川を活用した地域づくりというところが計画策定ということになってございますが、こういった機会もまずないと思っておりますので、地域づくりに貢献できるような立派な計画にさせていただきたいと思えます。本日は忌憚のないご意見などよろしく願いいたします。

(重茂課長)

続きまして、本日からまちづくり支援制度の担当として国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所より土田昭夫副所長においていただいております。土田副所長、よろしく願いいたします。

(土田副所長)

皆さん、こんにちは。今ご紹介いただきました岩手河川国道事務所副所長をしております土田と申します。私のほうは、前回の7月の協議会から参加させていただいておりますのでございます。

皆様もご承知のとおり、9月21日、宮沢賢治の命日ということで、毎年水位低下して、イギリス海岸を出現させるという試みをしているところでございました。今年だったのですけれども、順調に水位も下がって、今年は見られるのではないかと考えていた矢先に数日前からの雨で、残念ながら水位が高くてイギリス海岸の試みがちょっとできなかったというところでございました。

さて、前回の協議会では、委員の皆様から宮沢賢治も愛したであろう北上川の魅力をどう伝え、そして交流あるいはにぎわいをどう結びつけていくかというところで、皆様から様々なご意見をいただいたものと思っております。今回の資料は、それらも踏まえながら、また新たな場で資料作成させていただいているものと思えます。

この協議会を進めていくに当たりまして、前回の協議会でも少しお話しさせていただいておりますけれども、今回のこの協議会の資料を基に来月11月に入りまして、仙台にあります東北地方整備局に1回目の打合せを行わせていただき、その後に国土交通本省、さらにまたその後、もう二、三回ほど皆様のほうとの意見をいただきながら、この計画をより充実を図りながら来年度、令和7年度に計画の策定に向けてスケジュールを基に進めていきたいと思っておりますので、どうぞまたこれからは皆様からも忌憚のないご意見いただきながら計画を取りまとめ、進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

(重茂課長)

ありがとうございました。

それでは本日の出席者ですが、第1回協議会に出席いただいた委員やアドバイザー、事務局出席者については、本日お配りしている資料の出席者名簿を御覧いただきたいと思います。

花巻青年会議所理事長の高橋和也委員が欠席でございます。

また、アドバイザーとして第1回協議会において、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所工務第一課長の後藤淳一様に出席いただいたところでございますが、業務の都合により本日欠席でございます。代理といたしまして、工務第一課、小原竜光専門調査官にアドバイザーとしてご出席いただいております。出席の紹介については、以上をもって代えさせていただきますと思います。

それでは、次第に戻りまして、2. 協議に入りたいと思います。

花巻市(仮称)花巻地区かわまちづくり計画策定協議会設置要綱第4条第2項において、議長は会長が行うものとの規定がございますので、本会の協議の議長は木村会長にお願いしたいと存じます。

木村会長よろしくお願いたします。

(木村憲一郎会長)

改めまして、よろしくお願いたします。

それでは、時間もないので、早速2. 協議に入りたいと思います。まず初めに、(1)の第1回協議会質問・意見に対する対応状況について事務局より説明をお願いいたします。

(中野道路課長補佐)

【(1) について説明】

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。

ただいま第1回で出された質問、意見に対しての対応状況の説明がありましたが、ただ今の説明に対しましてご質問あるいはご意見のある方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

福田委員お願いたします。

(福田一馬委員)

2ページ目のイベントの開催数というところで、ご修正いただいて提案を聞き入れていただいてありがとうございました。あと、現段階ではまだそこまで具体的なところを示すことではないのかもしれないけれども、イベントというものの範囲や定義というものを少し頭に入れておいたほうがいいのかと思っています。例えばこれからかわまちづくりが発展していったら、例えばNPO法人とかで、ごみ拾いをやってみようみたいなことが行われた場合、このごみ拾いはイベントとしてカウントするのだろうかという疑問が生じたので、本計画に載るかどうかは分かりませんが、北上川の河川敷の占用許可というか利用許可を取ってやるものとするのか、そういう許可は取らないけれどもやりますからという連絡があったものをイベントとするというのか、そういうところをちょっと定義していたほうがいいのかと思いました。

あともう一点ですが、そういうことを鑑みまして、3ページ目のアクティビティの利用者数というところなのですけれども、2番の各イベントを行った際でも温泉郷からのお客様をカウントできるかもしれないなと思っています。今、花巻スポーツランドさんにいらっしゃった方のヒアリングしてカウントしていくという話なのですけれども、今後いろんな利用申請があつて、例えば大きなキャンプをやるとかみたいな話になったときの利用許可を与える際に、そういうイベントに温泉郷を利用されたお客様もカウントしてくださいというオーダーをつけるみたいなことで、2番の数字をもっと正確で具体的に書くことができるかなと思うのでご提案いたします。

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。ただ今のお話は質問というか、カウントを確認すべきというご提案でしょうか。

(福田一馬委員)

2番のイベントの開催数に関しては、そういった定義があつたらいいのではないかという提案で、計画に載せる団体かどうか分からないなという半信半疑の質問でもある提案です。

3番の各イベントでも利用者数をカウントできるのではないかというところは、質問に近いかなと思います。

(木村憲一郎会長)

事務局のほうから回答できる範囲でお願いいたします。

(中野道路課長補佐)

イベント回数の定義ですが、単純なごみ拾いでなければならないのが普通だと思います。通常の利用をする方々が自主的にやるものについてはカウントはしないと考えています。ただイベントとして、例えば河川の一斉清掃をしようとか、そういった部分はイベントとしてカウントしても良いとは思っています。

このカウントの仕方については、今後計画が策定されて推進協議会を昨年度やったワークショップだったり、今回の計画策定協議会の皆様方を中心に推進協議会というのを立ち上げたいと思っておりますので、その中で定義や範囲とかは詰めていけるのかなというふうに思っております。

3ページ目のわざと分けた理由というのが水上アクティビティの単純な利用者数と、前回の1回目の協議会でご提案させていただいた、要は宿泊客を増やしたいなという上位計画に滞在型観光を増やしたいという上位計画に書いてございます。そのために、花巻温泉郷利用者数の目標が多すぎるのではというご指摘は受けましたけれども、それに替わる宿泊者数の目標ということで、こういった水上アクティビティと花巻温泉郷利用者数の両方使った人というカウントをしたいと考えて記載しております。あくまでも遊びに来た人だけではなくて、どこかで泊まった人たちの方々の数というか、目標にしたいというのがあって、この2種類は同じような目標ではあるのかもしれませんが2種類設けさせていただきました。

(木村憲一郎会長)

いかがでしょうか。

(福田一馬委員)

ありがとうございました。イベントのことに関しては承知いたしました。

3ページ目のアクティビティと温泉郷の利用者数という話なのですが、ちょっと私の説明が悪かったようで正しく意図が伝わっていなかったのですが、花巻温泉郷に宿泊してかつ花巻スポーツランドでアクティビティされた方の数字しかカウントできないので、今後増えていくだろう河川敷でのイベントなどで花巻温泉郷に泊まった方がいらっしゃると思うので、今の目標だと花巻スポーツランドさんだけで数をカウントしているのですが、カウントする個数というか、窓口が増えれば増えるほどより実績値が上がると思うので、この書き方としては花巻スポーツランドにおけるという形で限定されてしまうところももったいないと思います。今後増えていくだろう河川敷でのイベント、そこの利用者さんでかつ温泉郷に泊まった人もカウントできるという意図なわけですが、いかがでしょうか。

(中野道路課長補佐)

最初のいろいろなかわまちに関する施策と、各箇所ですべて遊んでいただいた方が温泉に泊まるという目標にすれば、委員のおっしゃるとおり実績値が大きくなる指標になるのではないかというご意見は確かにもっともだと思いますが、今イベントでどのくらい来ているのかというのが全く分からない状況で、従前の目標、値を設けるのが困難であるというふうに考えております。温泉に泊まって水辺でアクティビティしたというのも統計取っているわけではないので、受付名簿というか、そういった部分から拾っていただいた概算数ではありますが把握できているようでしたので、そういった部分もあって今現在カウントができる数字に対しての目標というふうにさせていただきました。

(木村憲一郎会長)

いかがですか。

(福田一馬委員)

今現在でさえ従前の値がざっくりなのであれば、そこは仕方ないとしても、今後この計画が立てられて、ちゃんと管理運営されて、計画が回っていけばスポーツランドさんでもヒアリングするし、各イベントのところでもヒアリングできると思うので、数値、従前はぶっちゃけどうでもいい感じだと思っていて、目標値がどれだけ書けるかどうかが、実績値が高ければ高いほどかわまちづくりの成果が分かると思うので、1箇所に限定することに対して私はそこまで意味がないと思っていて、スポーツランド等とかスポーツランド及び各イベント等とかにしてしても何ら問題ない気がするので、ここをただスポーツランドさんに限定されているところは逆にそこに意図があるのであればお伺いしたいです。

(木村憲一郎会長)
お願いします。

(中野道路課長補佐)
特に意図はございません。目標値にする実績値が概数でも、現在分かっているアクティビティと温泉というのが分かっておりましたので、そちらを使わせていただいた次第です。確かに「等」とすれば今後進んでいく上でアンケートを取って温泉に泊まってイベントに参加したという、そういうアンケート協力をさせていただいて、数字は出てくるのかと思いますが、そうすると5年後の目標値の設定が難しいことから設定するにあたっては考えなければいけないところだと思います。「等」という曖昧ではあるのですが、表現をしてイベントの利用者の方々の数も計上するというのがよいとなればそのようにしたいと思います。

(木村憲一郎会長)
いかがですか。

(福田一馬委員)
これ以上は議論してもなかなか結論がでないと思うので、私の個人的な感覚だと目標値の設定は200でもいいと思っていて、何が問題かという、どれだけ評価されたか、進んでいるかの評価が大事だと思っているので、スポーツランドさんが例えば5年後、白畑さんが体調を崩してやっていなかった場合、休業しましたといったときに、この目標だとゼロになりますよねというところで少し不安にも思いますし、その辺は事務局のほうで議論いただいて、今後どのような結果になるにせよ、私は構いませんので、検討だけいただければと思います。以上です。

(木村憲一郎会長)
お願いします。

(中野道路課長補佐)
承知いたしました。目標数値含めこの表現というか、どこまでを範囲に入れるかというのは検討させていただきたいと思います。

(木村憲一郎会長)
ありがとうございました。
それ以外の方でご意見、ご質問のある方、お願いします。

(佐藤隆委員)
里川口町の佐藤といいます。4ページのところにある桜つつみを活用したさくら祭りと書いてありますが、これから様々なイベントをやっていくときに、出店もあるから多分来たがると思うのです。ただ桜だけ見て帰る人はいないでしょうから。

そういうときに、まず1つは質問で、様々なイベントするときに出店を呼ぶのか呼ばないのか、それから出店を呼んだときには必ずごみが出るのです。

町内会のごみ集積所が高田北公園、市民プールのところの公園は高田公園であります。その北側のほうに高田北公園というところがあるのですが、そこにごみの集積所があるのです。そうすると、ここはごみの集積所だよなと行って、鍵はかかって中には入れられないのですが、その周りにごみを捨てていく人がいるの

です、先日の花火大会のあったときに。ですから、様々なイベントやるときのごみの問題。

あとは、トイレの問題ですね。市民プールのところにもトイレはあります、男女1つずつ。それから、高田北公園の私の地区のところにもトイレが1つずつ。ただ、様々な人が来ますので、きれいに使わないで、汚くしたままいく人もいますので、これからイベントするときのごみの問題、それからトイレの問題、どのように考えていくか教えていただきたいなと思います。

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。実際の運用面の話になろうかと思いますが、1件目は出店をどうするのか、あとはごみとトイレ併せてでしょうかね、そちらの対応をどう考えているのか、ご質問への回答をお願いします。

(中野道路課長補佐)

お答えします。

イベントをすとなれば、やはり飲食は伴うと思います。飲食をする、売る方々も来ていただいて開催するというふうになろうかと思います。

ごみに関しては、実行委員会なり民間事業者さんに行ってくださいわけですが、その際にごみ箱の設置だったりをして周辺住民の地域に極力ご迷惑がかからないようにするというのも方法の一つだとは思っております。

トイレに関しては、今ここはソフトの施策なので、やはり北上川河川敷で何かをすとなったら普段使いにしてもトイレはないよねということで、新たにトイレを造りたいというふうな計画でハード、施設の整備のほうでは一応考えておりました。

以上です。

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。佐藤委員いかがでしょうか。

(佐藤隆委員)

そういう方向でお願いしたいと思いますし、さっき言うのを忘れていたのですが、河川敷でバーベキューという話もあったのですが、一斉清掃のときに河川敷にバーベキューやった後のものをそのまま捨てていく人もいるのです。ですから、そういうのをやるときに市民への周知だったり、使う人への周知をきちんとしてもらいたいなという意見です。

(木村憲一郎会長)

お願いします。

(中野道路課長補佐)

管理しているバーベキュー場だったりで行うときには勝手に捨てていくとか、置いていくということは当然発生しないと思います。管理者のほうでごみの収集だったりもするのですけれども、普段使いの部分として市民の方々が来て遊んでごみを捨てていくというのは、当然今現在もあるというふうに自治会長様おっしゃったとおり実際ゴミの放置はあると思います。そういった部分では、周知やパトロールだったりというのは当然必要に応じてやっていかなければならないと、この計画を進めていく上では行っていかなければならないのかなというふう考えております。

(木村憲一郎会長)

佐藤委員よろしいでしょうかね。

では、白畑委員お願いします。

(白畑誠一委員)

うちのところでは、清掃活動32年間になります。イギリス海岸から十二丁目沼まで。

最初は、花巻市の清掃で処理してもらっていたのですけれども、だんだん流れるものが市で対応できない

だの何だの、ちゃんと分別してくださいということで、こっちも子供たちが150人ぐらい県内から来ていただいて清掃活動してもらっています。集めたごみは、今は水沢出張所さんをお願いして全部きれいに持ってもらうということで、春、4月の第2週、それから11月の第2週ということで年2回、大体4トントラック1台分です。あのおり大水が出てとんでもなく流れてくるから多くなりました。

今回は上流のほうでトラックを管理している人たちがコンテナからタイヤまで全部流されたということで、うちのほうにも使えるタイヤ、大型トラックのタイヤが10本以上流れてきました。コンテナも昨日6個ぐらい拾ってきていましたけれども、そういうようなものを「へえ、こんなの流れてくるんだ」という市民の人たちがみんなで拾いながら、川ってこんなもの流れてくるんだ、木ばかりじゃないんだなというのをみんなで話しました。

終わった後には豚汁とか、春は野草を食べて、みんなで「ああ、川っていいな」という感じで、こうやっています。

だから、一概にごみを拾っていけだの、持っていけだのというのはなかなか難しく、うちのほうでもキャンプしてやっている人がいるのですけれども、今百均に行くとも何でも買えるのですよね。そのまま捨てていくのです。ただ、徐々にマナーはよくなっています。でも、まだまだですね。イベントのときなんか大量の物が出るから、市のほうでちゃんと対応するように、ここに入れてくださいというような感じでやったほうがいいと思います。以上です。

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。

(中野道路課長補佐)

ありがとうございます。全くそのとおりだと思います。ある程度、市といいますか推進協議会といいますか、今後中心になって考えていかなければならない問題かなというふうに思っています。貴重なご意見として伺わせていただきたいと思います。ありがとうございます。

(木村憲一郎会長)

ただ今のご意見は、恐らく実際に運用された後のご懸念から出されたものと思います。次の協議会か、推進協議会か、形は分かりませんが、ぜひこういった課題は引き継いでいただいて、委員の皆さんの懸念がそうならないように留意していただければと思います。よろしくお祈いします。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(小原調査専門官)

先ほどの佐藤委員からの出店の話ですけれども、恐らくこういうふうな形でいけばいいなという理想形ですけれども、出店については、設置する場所にもよりますけれども、河川区域内、堤防より川側のほうであれば、それは営利目的を前提としたそういう出店とかは基本は今の状態ではやっては駄目なのです。ただし、このかわまちづくりでいろいろな整備を進めていって、将来的に河川敷を都市・地域再生等利用区域の指定、いわゆる「河川のオープン化」というものがあるのですけれども、そういう区域指定をすることによって、いろいろな営利目的、お金を稼いでやるということが、そういう河川敷のところではできるようになるので、将来的にはかわまちづくりで整備したところのそういう河川敷とかも区域指定をして、オープン化をして、いろいろそこでお金をもうけられる人はもうけてもらって、そのようにして盛り上げていけばいいなというのは理想的なビジョンなのかなというふうに思っておりました。補足です。

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。それ以外はよろしいですかね。

「はい」の声

(木村憲一郎会長)

ありがとうございます。

1つ目の協議事項について、花巻スポーツランドの数の件は事務局のほうで検討していただくとして、そ

れ以外に関しましては修正された内容でご了解いただければと思います。ありがとうございます。

続きまして、2つ目の議題に移らせていただきます。(2) 計画申請書案、こちらの変更内容について、事務局から説明をお願いいたします。

(中野道路課長補佐)

【(2) について説明】

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。

前回の計画申請書案からの様式変更に伴って追加されたものや工程表でしょうか、そういったものが加わったということで、今回初めて提出されたものでございます。皆さんのほうからご意見、ご質問等あればお願いいたします。

いかがですか。よろしいですか。白畑委員お願いします。

(白畑誠一委員)

内水排除施設の北上川のほうですけれども、あそこは花巻市の公園になっているのです。あそここのところで私たちも実は水辺の水生物調査とか、そっちのほうに今使わせていただいています。あそここのところ一括して、例えば福田さんが言ったキャンプ場とか、バーベキューとか、そういうようなものを1か所にまとめて、そうすると管理もしやすいのではないかなど。一言声かけるだけで、「ごみはちゃんと持って行ってくださいよ」と、それだけで、なくなりますよ。でなければ、全部そのまま置いていくというような格好ですから、一言声かけるだけでも、あと残ったのはどうしようもないから、後で処理するということはありますけれども、声かけてやれば、花巻市民の人たちは優しいですから、全部持って行ってもらえます。

あとこの間、国土交通省で川の通信簿というのをやってイギリス海岸でやったのです。イギリス海岸というのはなぜイギリス海岸なのと、国土交通省のほうで問題を提起したと、花巻市民の人たちやに、散歩している人たちに。誰も知りませんでした。誰が名前をつけたとか、どういうわけでイギリス海岸になっているのか、私もまさかそこまで誰もと思ったのだけれども、びっくりしましたね。これが現状かなと思って、ちょっとショックが大きかったです。以上です。

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。ご意見として賜りたいと思います。

皆さんほかよろしいですか、いかがですか。大丈夫ですか。ありがとうございます。

それでは、今ご説明あった資料2の計画申請書の主な変更点・追加項目については、この修正案でということにさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

最後の(3)その他ですけれども、何か事務局のほうでよろしくお願いします。

(中野道路課長補佐)

事務局より協議をさせていただきます。

今後の予定ですが、令和7年度の計画登録に向けて国土交通省の事前審査が始まります。

事前審査において重要な事項について指摘された場合、例えば計画の方向性について大きな修正を加える場合などに対しては、対面での協議会を開催して委員の皆様にご意見を伺いたいと考えておりますが、軽微な修正・変更については協議会を開催せずに書面決議、資料を郵送して意見を伺うこととさせていただきたいと思います。

(木村憲一郎会長)

ありがとうございました。

今後の進め方ですが、委員の皆様の方でそういった開催の方向に関しまして何か意見等がありましたらお願いいたします。(異議なしの声あり)。皆さんご多忙なので、ではそのような進め方にさせていただければと思います。ありがとうございました。

(中野道路課長補佐)

ありがとうございます。

(木村憲一郎会長)

私のほうの司会進行はこれにて終了させていただきます。円滑な議事の進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

(重茂課長)

大変活発な協議ありがとうございます。それでは、協議から外れてその他の一番最後の大きな部分の3. その他というところ、何でもいいですが、その他のお話何かございましたらばお願いいたします。何かございますでしょうか。では、どうぞ。

(佐藤俊二委員)

小舟渡自治会の佐藤俊二と申します。皆さんイギリス海岸というのをどういうふうに捉えているかなのですけれども、ここにも写真載っていて、イギリス海岸の泥岩層というのがはっきり出ていますけれども、これ今出ていないわけですね。

そして、小舟渡で友達と一緒にイギリス海岸という名前、その人たちは全員、イギリス海岸というのは分かっているわけです、昔、子供の頃そこで泳いだりしていますから。ただ、今全然それがなくて、私の場合はイギリス海岸という名前をなくしたらいいのではないかと言ったのです、全然何もないから。みんな、それはできないだろうと言っていたのですけれども、皆さんイギリス海岸というのをどういうふうに捉えているかをちょっと知りたかったわけです。以上です。

(重茂課長)

ありがとうございます。イギリス海岸、ここにいらっしゃる方々は分かっているだろうとは思いますが、先ほど白畑さんからもお話あったとおり、知らない人も確かにいるのかなと思ひまして、もう少し情報発信必要じゃないかなというのはワークショップのときから出ていた話であるので、今の意見は事務局でも持ち帰って、何かいいアイデアがあれば運用する際の参考にしていけばいいのかなとは思ひますけれども、分からないという方はいらっしゃいますでしょうか。

(福田一馬委員)

分かる、分からないではなくてどう思いますかという議論じゃないですか、名前を変更したらいいのではないかという話をされているのではないですか。

(重茂課長)

なかなか変えてしまうのは難しいかなとは思ひますが、意見として持ち帰るぐらいしか今回答できないかなと思ひます。

個人的にということでは、いまイギリス海岸が見られないので、今後いろんなアイデアが出てくるのではないかなとは思ひます。実際に事業をやりたいとか、賛同してお客さん呼びたいとか、バーベキューやりたいとか出てくると思うので、そういった次のステップに移った段階の方々、どこでアイデアがあれば少し発信できるのかなというのを話しして、今日の回答はそこまでかなと思ひますので、ご理解いただきたいと思ひます。よろしいでしょうか。

では、白畑さんお願いします。

(白畑誠一委員)

うちのところに来るの、びっくりしたのですけれども、体験しに来る人たちはやっぱり富裕層なのです。ですから、安比に泊まって1晩10万円です。それから、花巻温泉も結構高いのですけれども、そこに泊まって来る人というのが結構多いなど。あと、様々な温泉からいっぱい来ますけれども、この人たちがすごい。

それから、あとこの間来た人たちは朝の飛行機で来て、体験して夕方の飛行機で帰っていく、大阪からです。「えー、何だよ」というような感じの。泊まらないのということではなくて、その体験だけに来るとい

う、私たちが新たに気づいた点です。1泊10万円の旅館に泊まる人たちというのは、どういう人たちかなと思ったら、普通の人たちなのですよ。だから、そういう人たちも来てゆっくり楽しめるというのがいいのかなと。

うちのところは何にもないです、ロープ張っていて、ロープを渡ったり、小鳥の声を聞いたり、トレーラーに乗って水辺の散策をするというような格好なのですけれども、そういうのが一番今楽しいと。ほかでは、こういう企画というのは立派なところがいっぱいあります、ディズニーでも何でも。だけれども、あれは駄目、これは駄目とみんな規約があるわけですよ。うちのところは、消防職員とかそういうようなので、なれたやつがここまでという自己判断でやらせていますので、そういうのがいいのかなと思っております。

やっぱりイギリス海岸は本当に名前を知らないような人たちがいてショックなのですよ。どうやって若い人たちに教えていくかなと。場所はわかりますよ、イギリス海岸というとみんな分かるのですけれども、なぜ名前つけられたかというのが知らない人たちが結構多いというのがこの間川の通信簿で初めてわかって、往復ビンタ食ったような感じで、市民の人たちも全く知らなかったというのが多かったです。以上です。

(重茂課長)

貴重なご意見ありがとうございます。特に回答はいたしません。ありがとうございます。それでは、ほかにその他の部分でよろしいでしょうか。

「はい」の声

(重茂課長)

それでは、これで本日の協議会は終了とさせていただきますが、今後のスケジュールの最後の確認という意味でお話しさせていただきますと、今年度中に3月までの間に今日のお渡ししている協議会の資料をしっかりと資料に仕上げることとなります。軽微な修正については、お話ししたとおり書面でやらせていただきたいというふうな考えであります。事務局としては、今後東北地方整備局を通じて国土交通省本省でこういった登録資料でいかどうかというのをコンサルも交えて岩手河川国道事務所も市も交えて作り込みを進めていただきます。その過程で、何かまた開催する必要があるかなという意味では大事なところではやりますよというような話でしたので、今後3月までの間にそういった事態が発生した場合、必要に応じてとなりますので、その際はまずは電話で連絡するかメールで。急ぎの場合は電話でということになるかと思っておりますので、その辺今後ともご協力いただきたいと思います。

それでは、本日お忙しい中出席していただきまして、ありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。それでは、これで本日の会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。